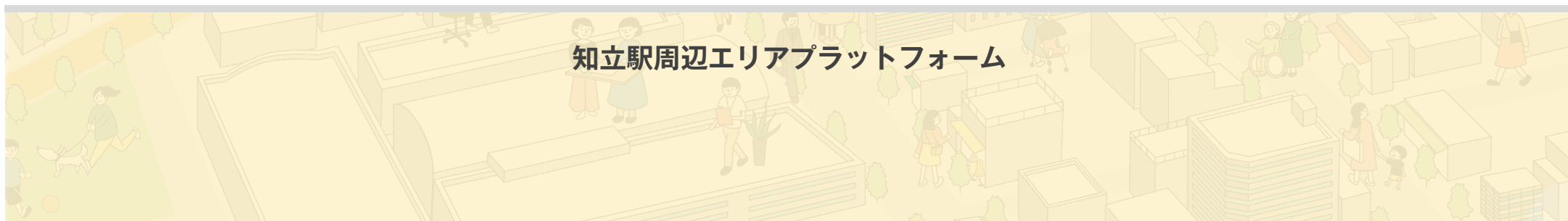




つながるまち 知立

CONNECTING CHIRYU

知立駅周辺エリア未来ビジョン Version 1.0



知立駅周辺エリアプラットフォーム

CONTENTS

contents

01

未来ビジョンについて

- 1-1 知立駅周辺エリア未来ビジョンとは
- 1-2 知立駅周辺地区の現在
- 1-3 知立駅周辺エリアの役割
- 1-4 未来ビジョンの策定主体

contents

02

エリアビジョン

- 2-1 エリアのコンセプト
- 2-2 将来のまちと暮らしの姿
- 2-3 5つのまちづくり方針
- 2-4 まちづくりの将来目標
- 2-5 エリアごとのイメージと重点エリア

contents

03

アクションプラン

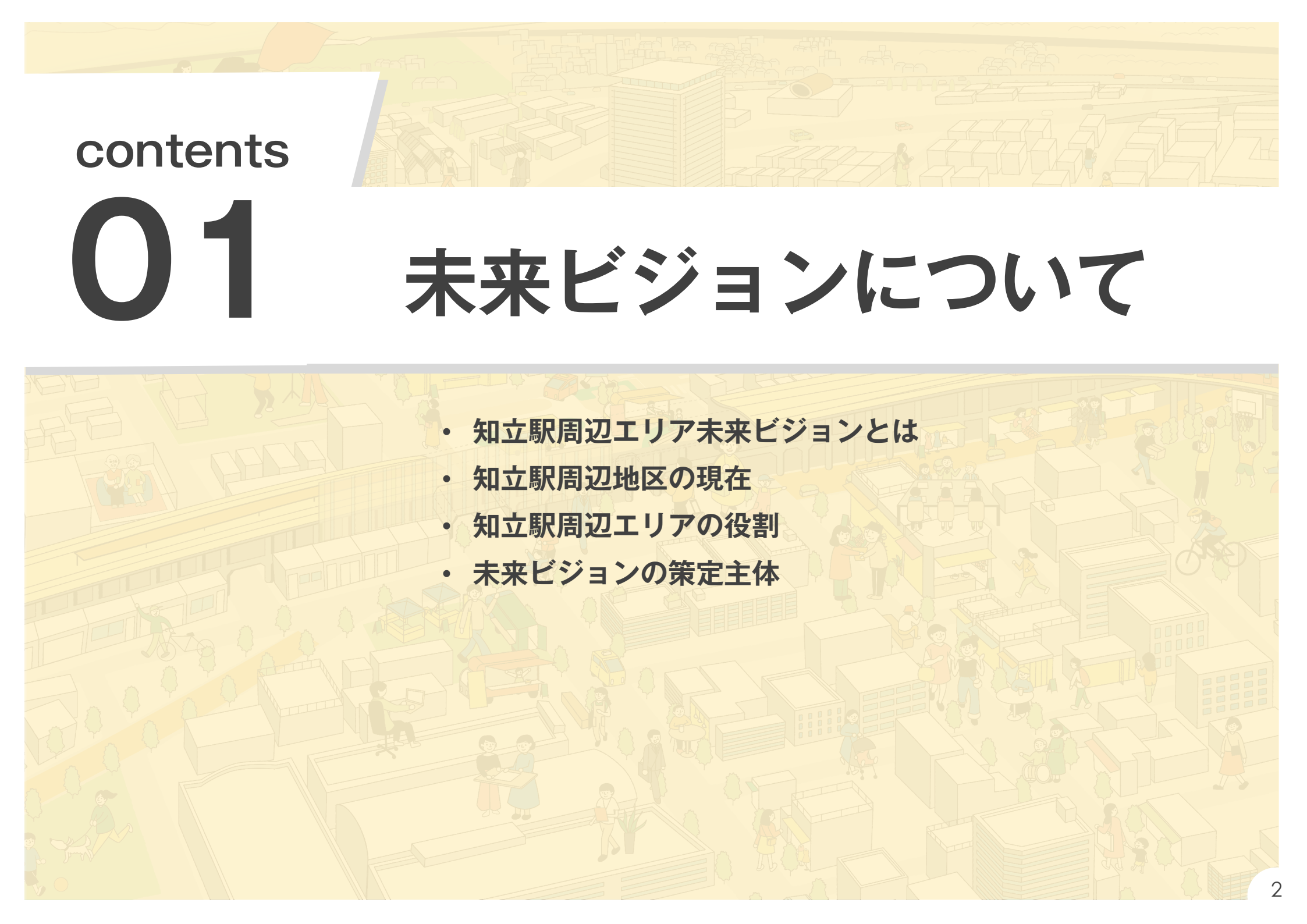
- 3-1 HUB 人と人が出会うまち
- 3-2 PARK 広場からはじまるまち
- 3-3 WELL-BEING 暮らしを紡ぐまち
- 3-4 CHALLENGE 誰もが挑戦しやすいまち
- 3-5 COMMUNITY コミュニティが息づくまち

contents

04

ビジョンの実現に向けて

- 4-1 率先プロジェクト[2024-2025]
- 4-2 ビジョン実現の進め方



contents

01

未来ビジョンについて

- ・ 知立駅周辺エリア未来ビジョンとは
- ・ 知立駅周辺地区の現在
- ・ 知立駅周辺エリアの役割
- ・ 未来ビジョンの策定主体

知立駅周辺エリア未来ビジョンとは

知立市の市民・行政・企業・鉄道事業者が一丸となって実現する 「100年に一度のまちづくり」による知立駅周辺エリアの未来です

現在、知立駅周辺エリアは連続立体交差事業及び駅周辺土地区画整理事業等により、まちの姿が大きく生まれ変わろうとしています。

このビジョンは、このエリアの未来に対する皆さんの想いを1つにまとめ、
エリア内外に発信・共有することで、具体的なアクションを起こすためのものです。

エリアの将来都市像と方向性、そしてその未来を実現するための道のりや方法を示します。

10年後・25年後を目指して未来を描きます

着実な未来の実現を見据え、短期(5年後)、中期(10年後)、長期(25年後)の視点で考えます。

2030

5年後

連続立体交差事業が
完了後の未来

2035

10年後

連続立体交差事業及び
駅周辺土地区画整理事業が
完了後の未来

2050

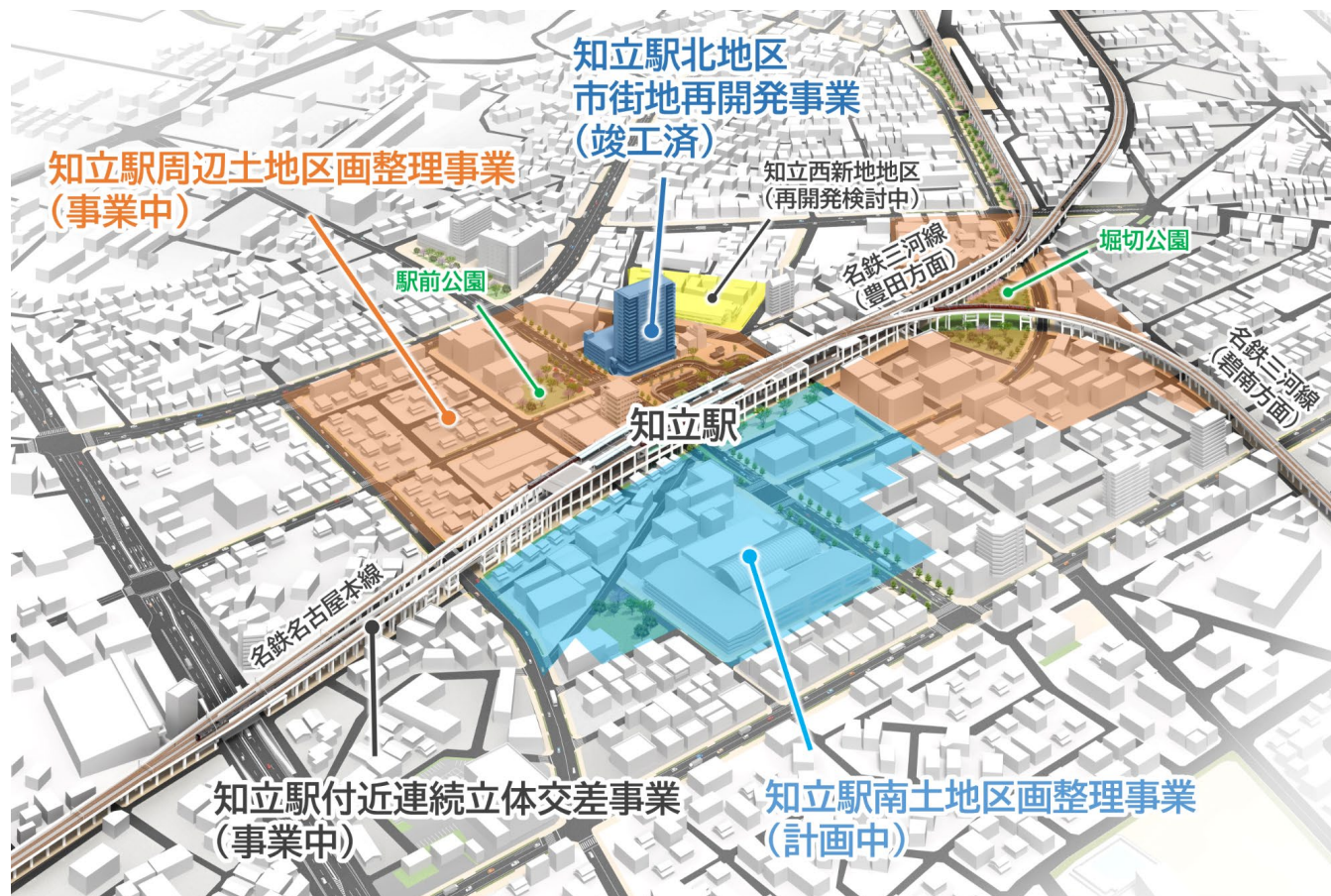
25年後

その他の知立駅周辺における
整備事業がすべて完了した
後に実現される未来

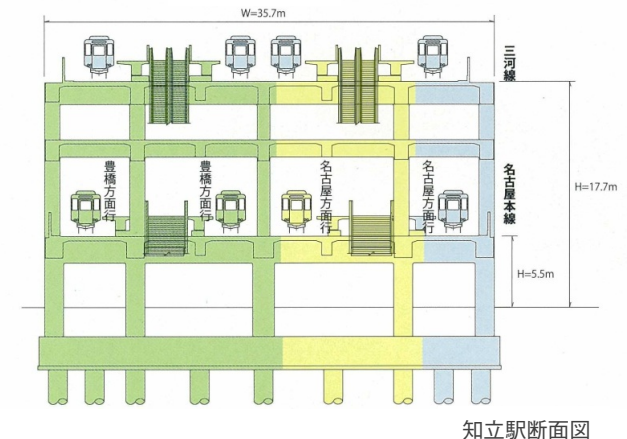
知立駅周辺地区の現在

知立駅周辺整備事業の概要

知立駅周辺エリアは現在、「100年に一度のまちづくり」として、連続立体交差事業と土地区画整理事業、市街地再開発事業が総合的に進行しており、まちが大きく変化しつつあります。この未来ビジョンはこれらと都市基盤の大きな変化を踏まえた、新しいまちの方針を示すものです。



知立駅周辺整備事業の概要（知立市ホームページ）



知立駅断面図



知立駅付近連続立体交差事業の概要（知立市ホームページ）

知立駅周辺エリアの役割

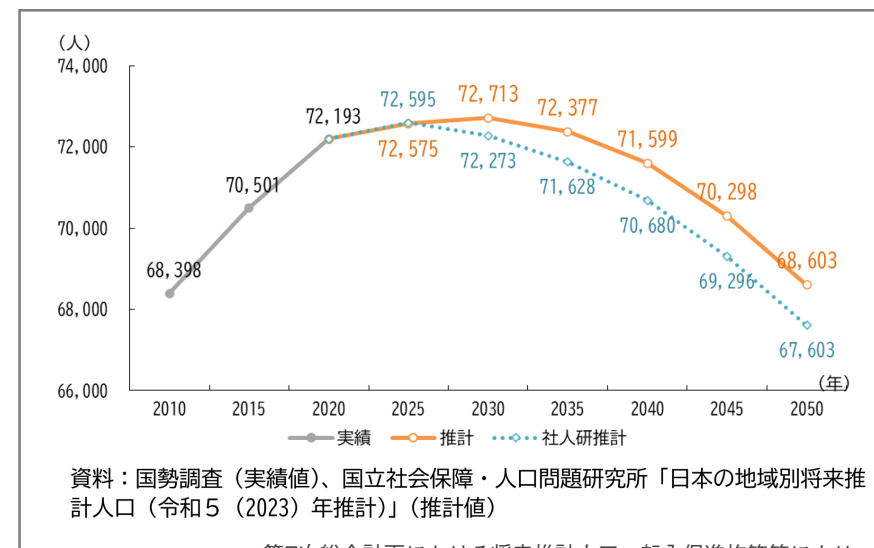
第7次知立市総合計画における位置づけ

2025年3月に策定された第7次知立市総合計画では、これまで掲げてきた『輝くまち みんなの知立』を引き継ぐとともに、更なる戦略的な将来像として、以下の目標が掲げられています。

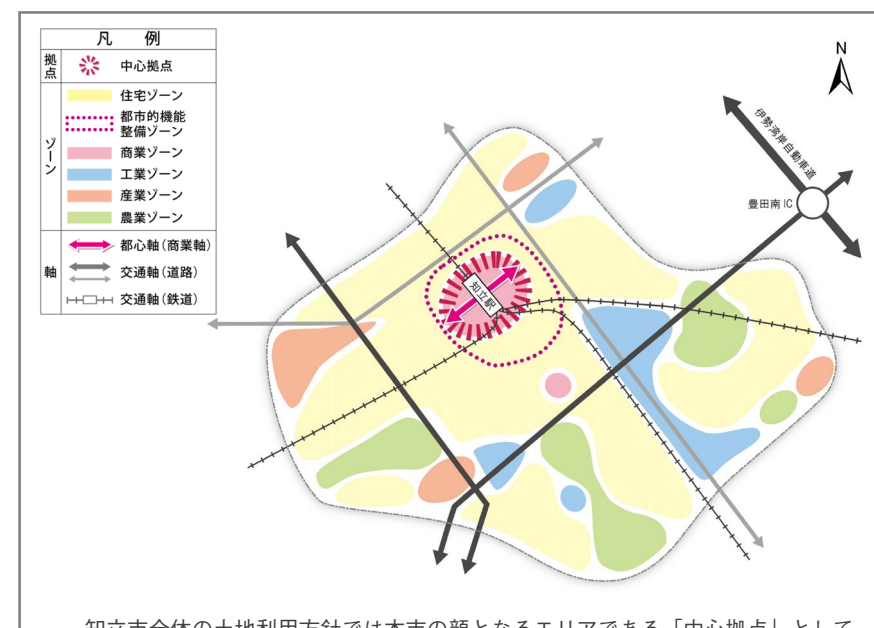
輝くまち みんなの知立
にぎわう・つながる 自分らしさをかなえるまち

このエリアは、今後10年間のまちづくりにおける知立市全体の基本方針の1つである

「知立駅周辺の整備を契機に魅力的なまちをつくる」のもと、整備により市の顔となるエリアとして、市民生活や産業活動の場を再構築し、知立市で暮らす、働く場としての魅力を高めることが期待されています。



第7次総合計画における将来推計人口、転入促進施策等により
国立社会保障・人口問題研究所より上回る見込みと設定

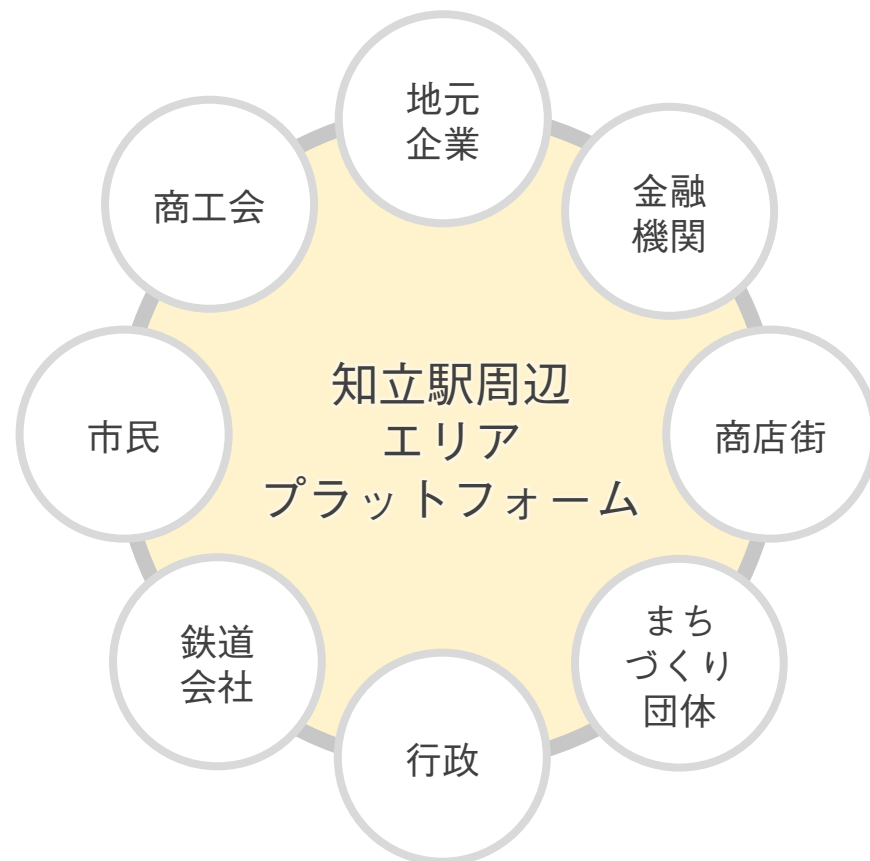


未来ビジョンの策定主体

策定主体 | 知立駅周辺エリアプラットフォーム

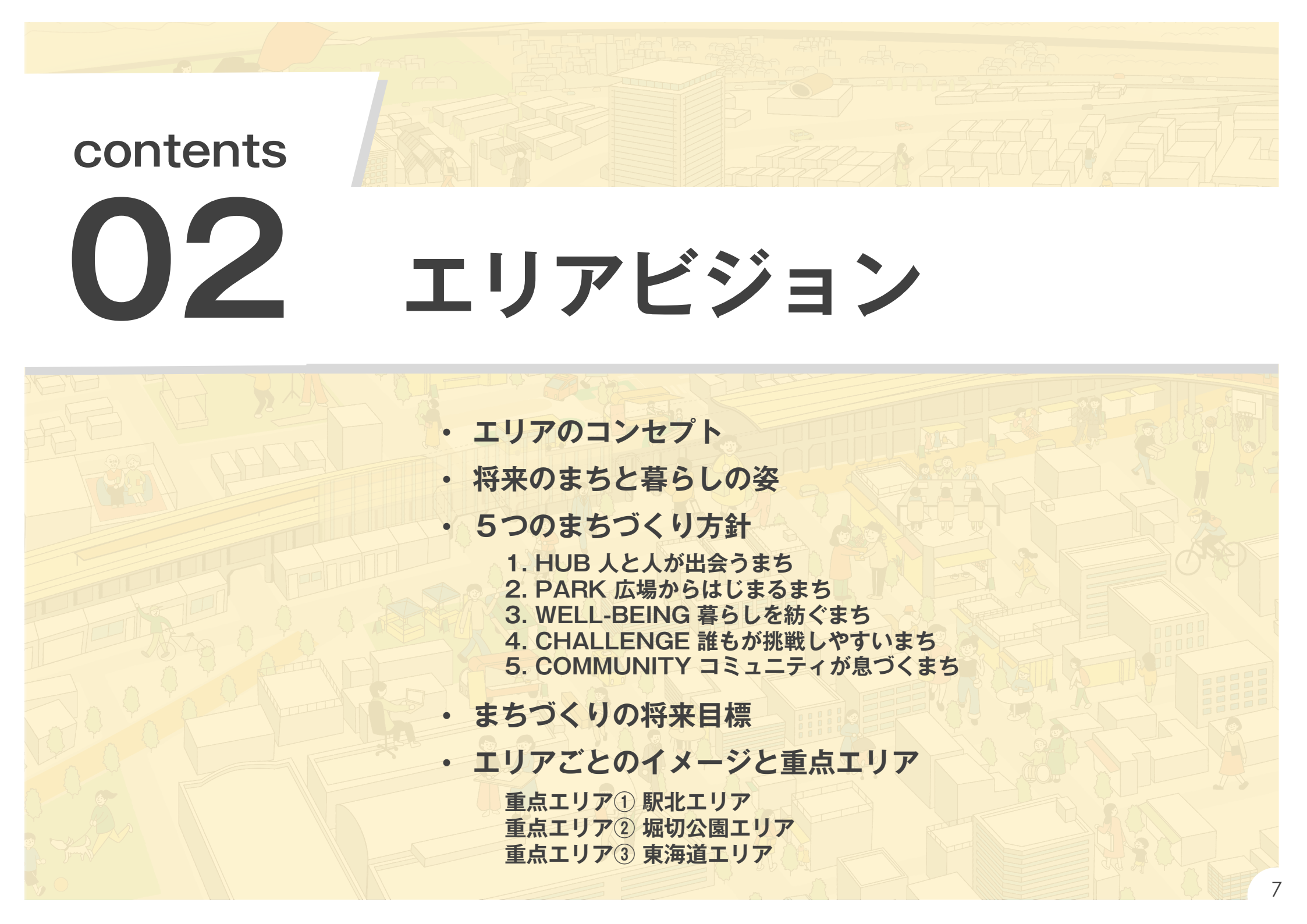
ビジョンの策定にあたっては、エリアに関わる様々な主体によるエリアプラットフォームを中心に、ワークショップ等を通じて様々な市民の意見を聞きながら議論を進めました。

今後も各主体が積極的に議論と試行を繰り返し、見直しを行いながら、ビジョン実現を目指します。



エリアプラットフォーム会員 ◎会長、○副会長、●監事

- ◎ 知立まちづくり株式会社
 - 町内会（本町）
 - 町内会（新地町）
- 知立市商工会
 - 駅北発展会
 - 駅南振興会
 - 一般社団法人ゆめナビジャパン
 - 株式会社藤田屋
 - 株式会社キャッチネットワーク
 - 株式会社FUJI
 - ブラザー精密工業株式会社
- 碧海信用金庫知立支店
- 名古屋鉄道株式会社
 - 知立市観光協会
 - 知立市役所 市民部（事務局：経済課）
 - 知立市役所 都市整備部



contents

02

エリアビジョン

- ・ エリアのコンセプト
- ・ 将来のまちと暮らしの姿
- ・ 5つのまちづくり方針
 1. HUB 人と人が出会うまち
 2. PARK 広場からはじまるまち
 3. WELL-BEING 暮らしを紡ぐまち
 4. CHALLENGE 誰もが挑戦しやすいまち
 5. COMMUNITY コミュニティが息づくまち
- ・ まちづくりの将来目標
- ・ エリアごとのイメージと重点エリア
 - 重点エリア① 駅北エリア
 - 重点エリア② 堀切公園エリア
 - 重点エリア③ 東海道エリア

エリアのコンセプト



知立駅周辺地区は、古くは東海道五十三次の池鯉鮒宿として、

現在は名鉄本線と三河線が交わる交通の要衝として、

様々な人々が交わる、つながるまちとしてこれまで成長してきました

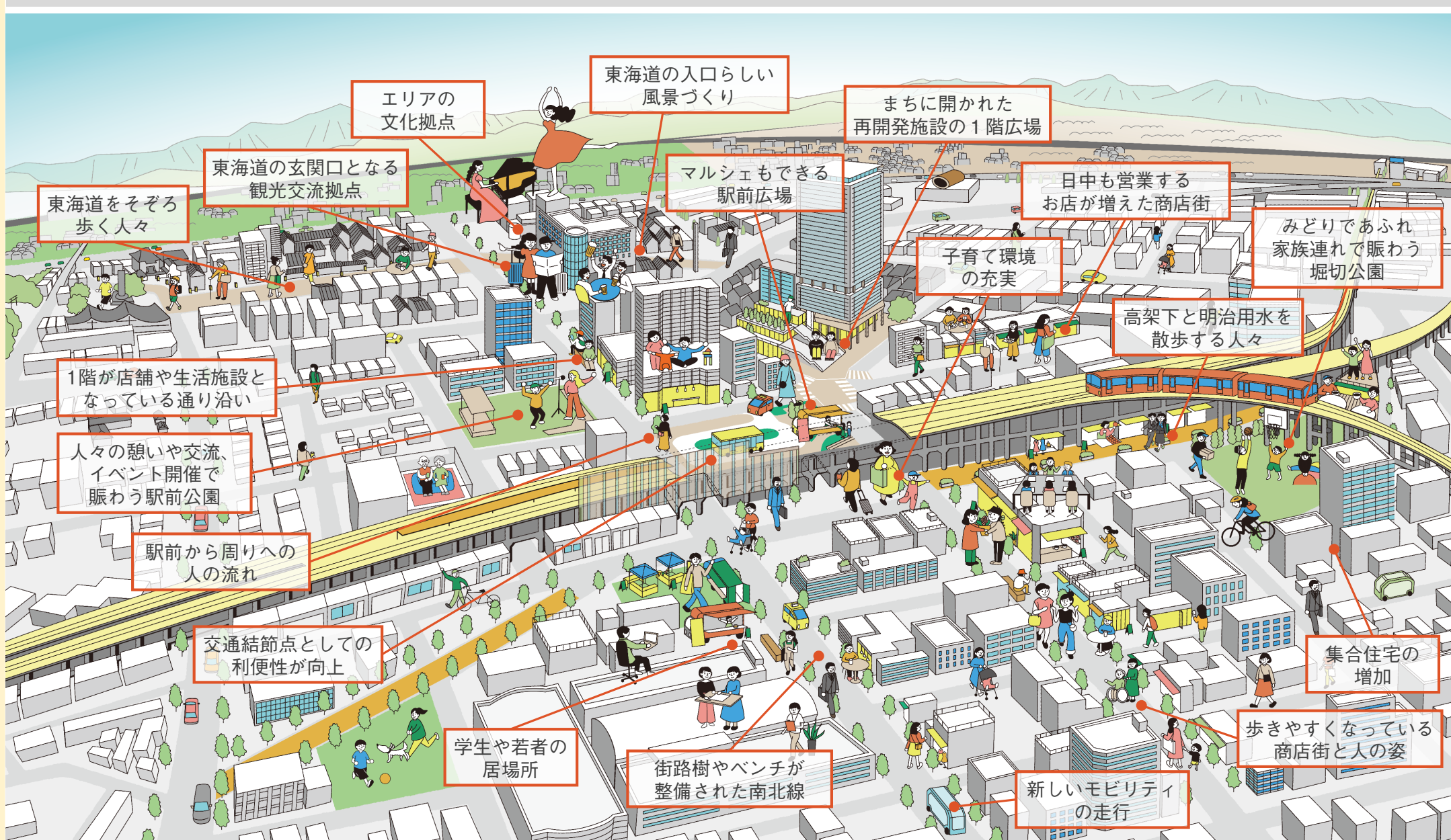
100年に一度のまちづくりのこの契機に、西三河の様々な地域をつなぐ玄関口として、

宿場町としてのアイデンティティを現代に受け継ぎ、新しいものと古いもの、

暮らしと生業、憩いと賑わい、様々な人や場所、時間をつなぎ、

そこから新しい **魅力や暮らし、挑戦を生み出す** まちを目指します

将来のまちと暮らしの姿



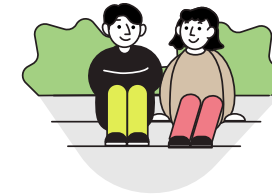
5つのまちづくり方針

policy
01

HUB 人と人が出会うまち

policy
02

PARK 広場からはじまるまち

policy
03

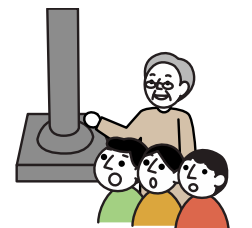
WELL-BEING 暮らしを紡ぐまち

policy
04

CHALLENGE 誰もが挑戦しやすいまち

policy
05

COMMUNITY コミュニティが息づくまち



HUB 人と人が出会うまち

利便性の高い交通結節点であることを活かし、単なる通過点ではなく、目的地となるエリアを目指します。

賑わいと暮らしの多様な機能を集め、エリア一帯の歩きやすさと回遊性、アクセス性を高めることで、市内外から様々な人が集まり、出会い、関わり、新しい魅力を生むまちを実現します。

ワークショップや検討会議での意見



- 週末のお昼に大人も子どももでかけたくなるエリアに！
- 立ち寄りたいお店が多くある場所になってほしい！
- 昼に行くことのできる飲食店、ランチの店を
- 待ち合わせや気軽に行ける場所やカフェが学生に必要
- 誰もが歩きやすい、交通安全にも配慮したまちに
- 高架下などを利用して市内の主要施設の歩行動線確保を
- 駅周辺から自宅までの移動手段の充実が必要
- 公共交通と自家用車のどちらでも来やすい駅・まちへ

※アイレベル | 人の目線の高さや1階レベルを指す

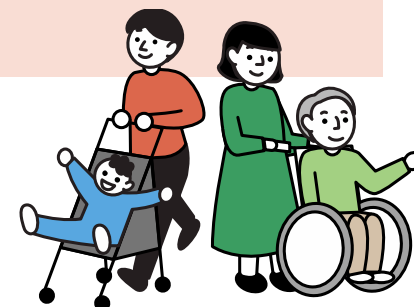
1 アイレベル^{*}での賑わい

目線の高さで人の営みや賑わいを感じられるよう、1階レベルに暮らしや商業の多様な機能を誘致し、人の活動をまちににじみだします。



2 歩きやすさと回遊性

街路や広場を活かし、歩行空間の歩きやすさと安全性の向上、ネットワーク化を行うことで、エリア内外の回遊を生み出します。



3 広域的なアクセス

鉄道やバス、新しいモビリティなどにより、市内外の様々な場所から駅周辺エリアに多くの人を訪れやすい交通環境を作ります。



PARK 広場からはじまるまち

駅周辺整備事業で生み出される広場や公園を活かし、多様な人の居場所とするとともに、活躍や挑戦を生み出すエリアを目指します。

知立の玄関口にふさわしい広場を創出するとともに、多様な人々が過ごせる居場所、様々な活動や挑戦の舞台となるための仕掛けや仕組みを組み合わせ、まちの可能性を引き出します。

ワークショップや検討会議での意見



- 駅前に知立をPRできるシンボリックな風景が欲しい！
- 屋根がついた全天候型の広場があるといい
- 水景や音楽、光など、毎日がショータイムとなる広場に
- 子どもを安心して遊ばせられる+親も居心地良い空間を！
- 駅から出てゆっくりできる、待ち時間を過ごせる場所を！
- 緑のある環境にも配慮したまちにしたい
- 「できない」ではなく「できるようにする」を考えたい
- なんでも「できる」場を作ることが大事

1 知立の玄関口

知立の玄関口にふさわしい駅前広場や公園を整備し、平日は駅利用者や学生の居場所に、休日は様々な魅力を発信する場を作ります。



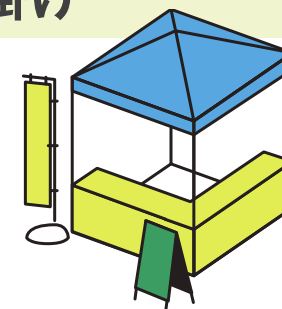
2 憩いや居場所となる空間

居心地のよい空間やみどりなどにより子育て世帯をはじめ、様々な人が憩い、ゆったりと過ごせる居場所づくりを行います。



3 賑わいと挑戦を生む仕掛け

広場や公園で様々な挑戦や活動が実施できるように、広場・公園活用に向けたルールや仕組み、必要な設備の導入を行います。



WELL-BEING 暮らしを紡ぐまち

生活に必要な機能がコンパクトに集まり、子どもから高齢者まで、様々な人が憩い、遊び、安心して居心地よく暮らせるエリアを目指します。駅周辺整備事業と合わせてエリアの魅力を積極的に発信します。加えて、子育て環境の充実や、夜間をはじめとした安全安心な住環境を確保し、便利で居心地の良い暮らしの場を作ります。

ワークショップや検討会議での意見



- 若い女性に好まれるまちが定住につながるのでは
- 保育園、学校、スーパー等の日常生活が駅周辺ですべて完結できるように
- いつも子どもの声が聞こえるまちになるといい
- 共働きで子育てしやすいエリアになってほしい
- 駅周辺に行けばみんなの問題が解決するように
- 夜間になるとたばこの煙や酔っ払いが多いので、夜でも安心感のある場所になってほしい
- 災害が起きても安心できる防災拠点が必要

1 移住・定住しやすい環境

生活や子育てに必要な様々な施設をコンパクトに集めるとともに、エリアの暮らしやすさや魅力を情報発信し、定住環境をPRします。



2 子育て環境の充実

子育てに必要な機能を誘致するほか、子どもと一緒に出掛けやすい環境や居場所づくり、教育環境の充実を図ります。



3 安全・安心な住環境

防犯活動の強化や照明等の環境整備、高齢者の自立生活支援等により、誰もが健やかに安心して暮らせる環境を作ります。加えて、防災機能の強化を行います。



CHALLENGE 誰もが挑戦しやすいまち

学生や若者をはじめ、様々な人が新しいことに挑戦できる環境を整え、その挑戦が積極的にまちづくりに取り入れられるエリアを目指します。学生や若者の活躍・挑戦、様々な技術やアイデアの実証、起業やビジネス拠点の設置を積極的に応援できる仕組みや機会を創出し、ここから市内や全国に向けて新しい可能性を発信します。

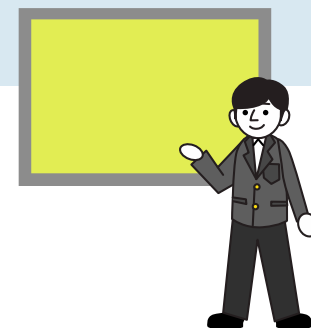
ワークショップや検討会議での意見



- 学生が地域や企業と もっと話せる機会が増えるといい
- 自分の地域で何をやっているのか、何ができるのか、情報や機会がないので入ってくるといい
- 若者の活躍は大人が求めるもののアウトプットではない
- 知立を実証実験都市にしたい！
- 歴史的資源とテクノロジーが組み合わせると面白そう
- 昼間に働く人を増やすための企業誘致を！
- ここにしかない魅力的なお店が集まってほしい

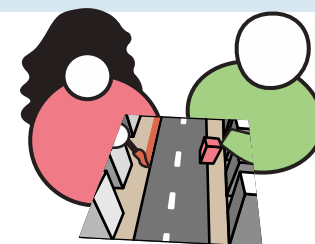
1 学生や若者の挑戦

学生や若者が、自分たちの活動の発表の場を得たり、まちづくりに気軽に参加したり、やりたいことができる機会を作ります。



2 新しい技術やアイデアの実証

新しい技術やアイデアを実際のまちなかで実証しやすいインフラや仕組みづくりを行い、それを積極的にまちづくりに取り入れます。



3 起業やビジネス拠点の支援

スタートアップや個人店など様々なタイプの起業を応援します。更に、交通利便性を活かしたオフィスやビジネス拠点誘致を行います。



COMMUNITY コミュニティが息づくまち

地域の様々な主体が連携し、それぞれにできることを実現しながらまちを育て、これまでの歴史や文化をつないでいくエリアを目指します。

新旧の住民、商業など様々なコミュニティが関わり合う機会を増やししながら、知立まつりや東海道など歴史文化の継承を進めます。加えて、地域が持続的にまちづくりを進める体制づくりを行います。

ワークショップや検討会議での意見



- 新しい住民がまちづくりに参加する機会があるといい
- 子育て世代のニーズをまちづくりに反映する仕組みを
- リリオで行われている文化イベントをまちに開こう！
- 知立の歴史や文化遺産の点と点を面としてつなげたい！
- 知立まつりなどに若い世代やファミリーも参加しやすく！
- 知立の歴史や文化を学ぶ機会を作りたい
- 地元企業が利益を還元しながらさらに発展できるように
- まちづくりを推進する体制づくりが重要

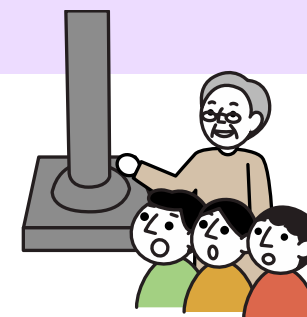
1 多様なコミュニティの関わり

新しく暮らす住民と古くから暮らす住民、商業組織と住民組織、それぞれのコミュニティを大事にしながらまちづくりを進めます。



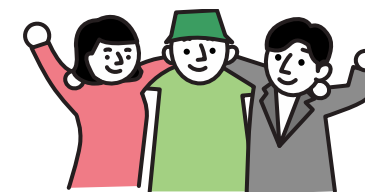
2 歴史や文化の継承

知立神社や東海道、知立まつりなどの文化資源をネットワーク化し、若い世代や子どもたちが気軽に歴史や文化を学べる環境を整えます。



3 まちを育てる体制づくり

エリアプラットフォームやまちづくり会社など、まちづくりを持続的に進める体制づくりと、そのための仕組みを整えます。

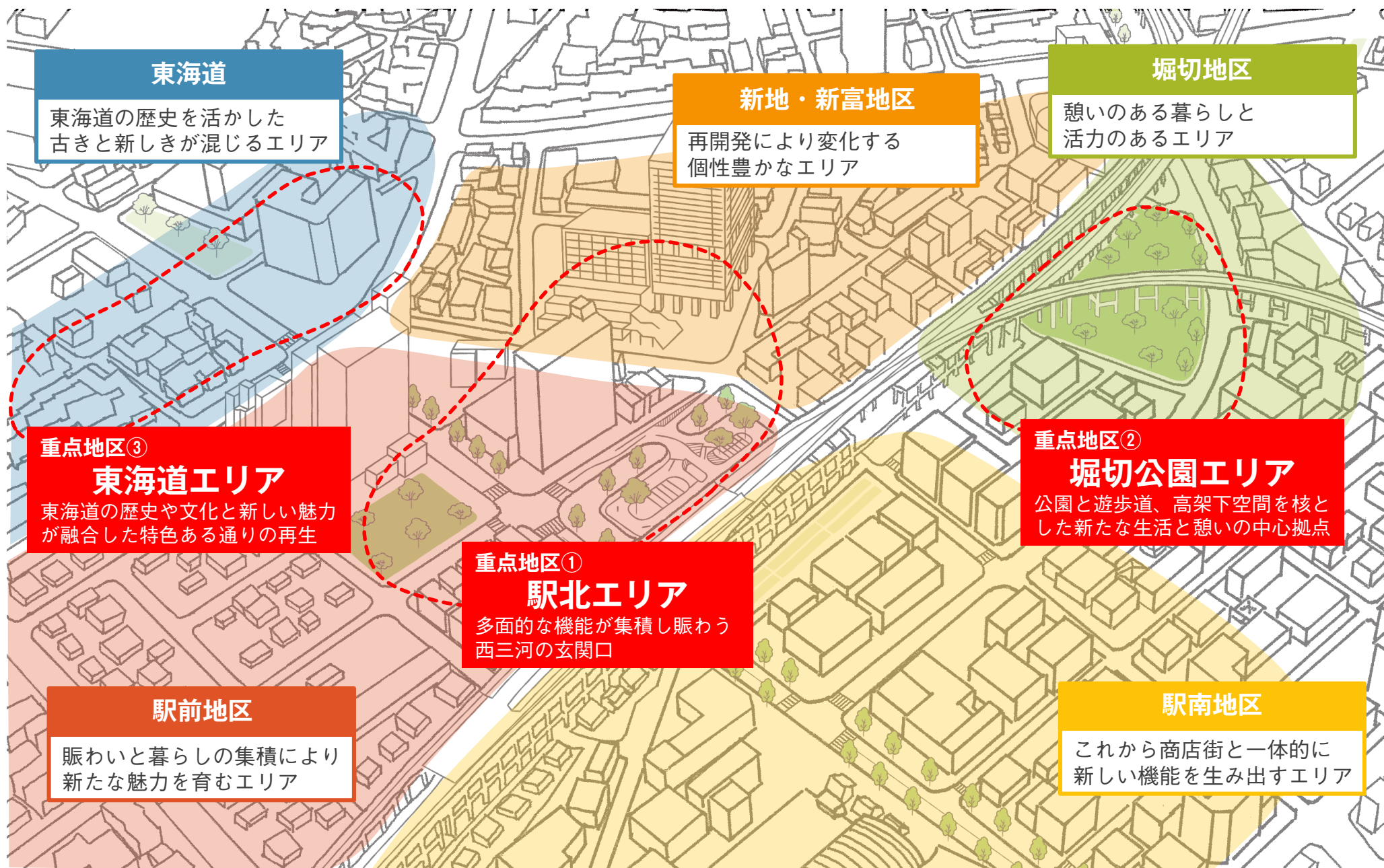


まちづくりの将来目標

まちづくり方針に対応した6つの将来目標

	2020	2030	2035	2050
01 交流人口 1日あたりのエリア滞在人口 (KDDI Location Analyzerに基づく)	6,600人 (2021年の平均値)	7,000人 6%増	8,900人 35%増	13,200人 100%増
02 広場・公園面積 エリア内の広場・公園の総面積 (知立市提供)	5.8千m² (2022年値)	7.4千m² 28%増	14.5千m² 150%増	15.0千m² 159%増
03 定住人口 エリア内の定住人口 (都市計画基礎調査に基づく)	2,700人 (2021年値)	2,900人 7%増	3,600人 33%増	5,400人 100%増
04 商業・業務床面積 エリア内の商業・業務用途床面積 (都市計画基礎調査に基づく)	84千m² (2022年値)	89千m² 6%増	114千m² 36%増	168千m² 100%増
05 住み続けたいと思う人の割合 (市民アンケート調査結果に基づく)	65.8% (2023年調査)	67.5% 1.7ポイント増	70.0% 4.2ポイント増	80.0% 14.2ポイント増
06 年間乗降客数 知立駅における1年間の乗降客数 (知立市の統計に基づく)	1,000万人 (日2.8万人) (2022年値)	1,100万人 (日3.1万人) 8%増	1,200万人 (日3.2万人) 14%増	1,300万人 (日3.5万人) 24%増

エリアごとのイメージと重点エリア



重点エリアへの期待（ワークショップでの意見）



駅北エリア

- 知立らしさのある駅前
 - 宿場町の風情やシンボル
 - まちの情報発信や愛称
- 魅力的な目的地づくり
 - 子どものための空間やサービス
 - 昼に楽しめる魅力施設
- 合理的で時代に合った交通処理
- 歩きたくなる道づくり
- 過ごしたくなる歩道や広場
- 水・緑・芝生でうるおいある駅前に
- 色んなシーンを受け止められる空間に
- 治安やごみ、災害などの課題に取り組み安全安心へ

堀切公園エリア

- 暮らしと賑わいのバランスを
 - 地域と来訪者の融合
 - 夜から昼のイメージへ
- 子育て世代が喜ぶとみんな嬉しい
 - 子供を遊ばせ見守れる休憩スペース
 - コミュニティサポートなど
- 高架下を活かしエリアの個性に
- 多様な人が過ごせる公園へ
- 知立らしい公園にしよう
 - 遊具や建屋などのつくるものと
 - 広場などひろがりのある空間の確保
- 安全安心と防災
 - 隣接する道路と境界の安全確保

東海道エリア

- 東海道らしさのPRを
 - みちや建物正面の修景など
- 点と点をつなぐものがたりを
 - 一点在する史跡をつなぐツアー
 - 駅とのつながり、郷土史の教育など
 - 目的地となる新しい店舗の誘致
- 安全安心な歩いて楽しい通りへ
 - 現状は車の交通量が多く危険
 - ベビーカーでも安心できるみち
- ちょっとしたやさしいスポットを
 - 日陰やベンチ、植栽の設置など
 - 既存の建物を活用する取り組み



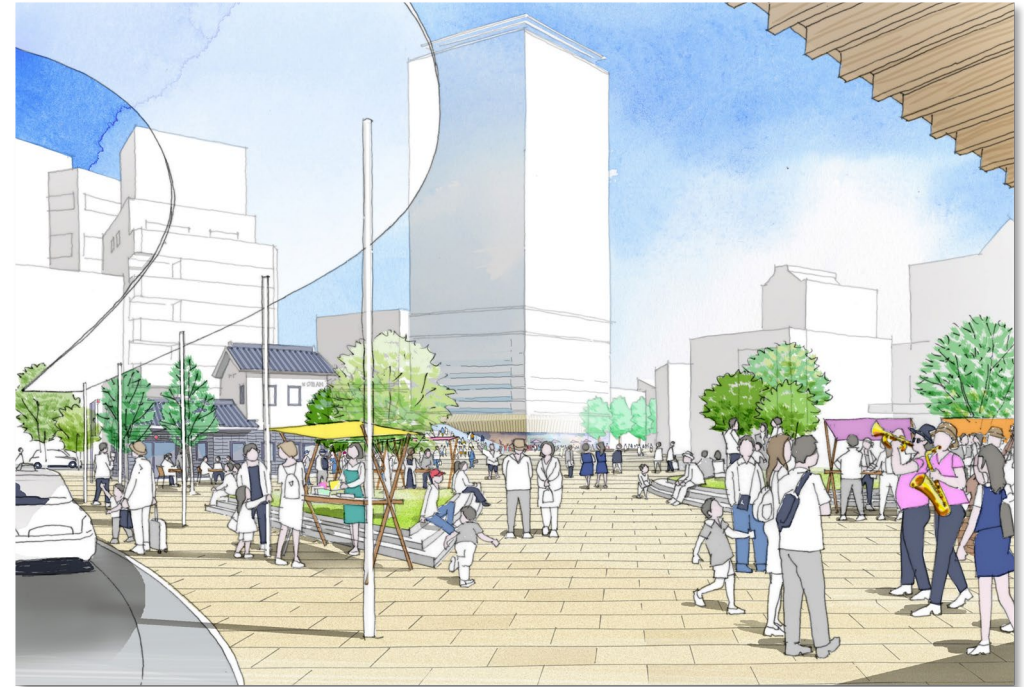
重点地区① 駅北エリア

多面的な機能が集積し賑わう 西三河の玄関口

西三河、そして知立の玄関口として、新たに整備される駅前広場を中心に、賑わいと暮らし、商業と生活の様々な機能が集まり、昼も夜も様々な人が集い、そこを起点に人が回遊するエリアを目指します。

広場や公園は駅利用者や住民、来訪客の居場所となるとともに、休日には多様なイベントや活動により多くの人であふれます。

エリアの主要な通りでは、歩きやすく豊かな歩行空間と、店舗が連続する沿道施設により、昼も夜も人が行き交います。



※パースはイメージです

西新地地区市街地再開発事業

- ❑ 駅前から人を出迎える広場の配置と動線確保
- ❑ 日中でも人が集う多面的な都市機能の誘致
- ❑ 生活商業施設の誘致

駅前広場

- ❑ 西三河の玄関口にふさわしい風格ある風景
- ❑ 日常の居場所となる滞在環境と情報発信設備
- ❑ 交通結節機能を確保しつつ交流空間を創出
- ❑ 交通弱者にも配慮した円滑な歩行動線

知立南北線・栄線・本町堀切線

- ❑ 駅から他地区へと回遊できる歩きやすく安全な歩行環境と滞留施設
- ❑ 生活に必要な機能(買い物施設など)の誘致
- ❑ 店舗が連続し賑わいを生む通りの沿道施設と活動の展開

駅前公園

- ❑ 多様な世代の日常的な居場所となる滞在空間
- ❑ 駅前広場や知立南北線と一体的に利用できる空間構成の検討
- ❑ イベントに利用できる交流空間・機能とルール

重点地区② 堀切公園エリア

公園と遊歩道、高架下空間を核とした新たな生活と憩いの中心拠点

堀切公園を中心に、緑化などによる居心地のよい空間づくりや賑わい機能の充実など、都市生活者の憩いや生活の中心となる新たな拠点を目指します。

堀切公園では、子どもたちが安心して遊べる空間を中心に、高架下空間も利用して多様な活動を支える機能配置を検討します。

駅や他地区から公園への経路となる環状線や明治用水遊歩道においても、みどりと憩いの歩行環境の形成を進め、エリアの一体的な回遊性を生み出します。



※パースはイメージです

堀切公園

- 樹木や芝生など、みどりによる憩える空間
- 民間事業者の協力によるカフェやアクティビティ施設等の配置検討
- 高架下空間と明治用水、堀切公園の一体的な空間配置の検討

周辺街区や歩行者動線

- 知立環状線における歩きやすく安全な歩行環境と滞留施設等の整備、沿道施設における店舗の連続
- 明治用水上部を活用した駅と公園を結ぶ遊歩道の整備と豊かな歩行環境の確保
- 高架下空間の一体的な活用検討による公園及び駅のアクセス機能と賑わい機能の充実
- 駅から堀切公園に至る商店街での店舗の誘致

重点地区③ 東海道エリア

東海道の歴史や文化と新しい魅力が融合した特色ある通りの再生

歴史と文化を有する東海道の道筋を活かしつつ、新しい魅力との融合による特色あるまちづくりの展開を行います。

通りや沿道、点在する史跡等の修景検討により、東海道らしい趣のある風景の再生を検討するとともに、沿道の建物を利用した魅力的な小規模店舗の充実を進めます。

観光交流センターの機能充実や回遊性の向上に向けた情報発信など、ソフト的な取り組みと合わせて、散策に来る来訪者の体験の質の向上を進めます。



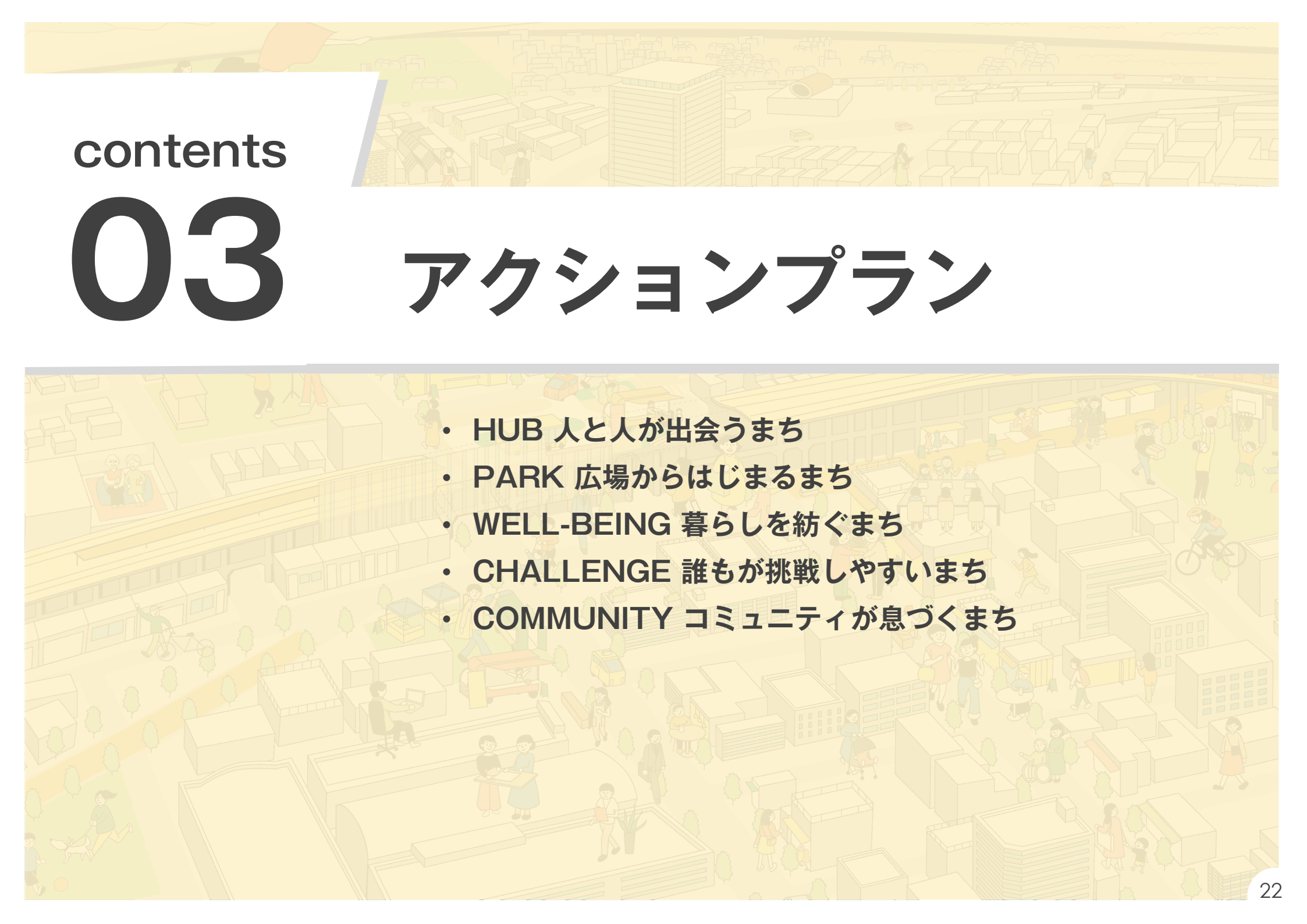
※パースはイメージです

東海道

- 照明や舗装などの改善による東海道を感じさせる道の風景の創出
- 史跡やサインの空間改善による散策魅力の可視化
- 民地等を活用した小さな広場や庭の創出

リリオ・コンサートホール及び観光交流センター

- リリオ・コンサートホールが企画するプログラムのまちなか展開によるエリアの魅力向上
- 観光交流センターの機能充実による東海道の魅力発信強化と回遊性の向上促進
- 沿道建物や空き家等の活用による魅力的なカフェや小規模店舗の充実
- 公共空間などを利用した池鯉鮒宿の雰囲気やイメージの継承と表現



contents

03

アクションプラン

- HUB 人と人が出会うまち
- PARK 広場からはじまるまち
- WELL-BEING 暮らしを紡ぐまち
- CHALLENGE 誰もが挑戦しやすいまち
- COMMUNITY コミュニティが息づくまち

HUB 人と人が出会うまち

1 アイレベルでの賑わいづくり

TRIAL

2030

5年以内に実施する取り組み

商業誘致の機会づくり

- 広場や空地を活用したお試し出店機会の創出
- 不動産開発に対する地上階の商業誘致に対するサウンディング※

ACTION

2035

10年後までに実現する取り組み

駅北地上階の商業誘致

- 開発に対する商業誘導のための支援施策実施（昼業態を中心に）
- オープンカフェなど、歩道空間活用の制度化

CHALLENGE

2050

25年後までに挑戦する取り組み

周辺エリアの商業集積

- 駅南地区や新地・新富地区の商業機能集積

2 歩きやすさと回遊性の向上

回遊性向上の実証

- 道路や広場での滞留施設設置の実証実験
- 歩行ネットワーク検討
- エリアの情報発信
- 公共交通の利用促進とエリアを回遊するモビリティの必要性検討

新設街路の機能向上

- 南北線や環状線等の滞留施設や景観整備
- エリア内外をつなぐ歩行者ネットワーク整備（サイン、安全施設）

街路の歩行空間拡充

- 本町堀切線のコミュニティ道路化
- 東海道の歩行空間充実
- エリア内における新モビリティの導入

3 広域的なアクセスの拡充

駅前広場の機能向上

- 駅前広場の整備による公共交通の乗換・待合機能の充実
- 広域バスや企業バスの拡充検討

駅前広場の機能拡充

- 駅前広場等を活用したバスやモビリティの発着機能の充実

PARK 広場からはじまるまち

1 知立市らしい 玄関口の整備

2 憩いや居場所となる 空間づくり

3 賑わいと挑戦を生む 仕掛けづくり

TRIAL

2030

5年以内に実施する取り組み

新たに整備される 公園・広場の活用 に向けた実証実験の実施

- 駅前暫定広場の活用を通じた多様な主体による多様な活動の試行
- 各広場や公園に対する市民ニーズの把握
- 公園・広場整備に対する企業の協力可能性の検討とサウンディング※

ACTION

2035

10年後までに実現する取り組み

駅前広場の整備

- 日常的な居場所となり、イベントに活用可能な交流空間の整備
- 玄関口にふさわしい景観の整備

駅前公園・堀切公園

- 多様な世代が憩うことができる公園の整備（木陰や屋根も）
- 周辺敷地との一体性を確保するための連携
- 民間企業との連携

広場活用制度の導入

- 新たな広場や公園において、多様な利活用を受け入れられる制度の導入

CHALLENGE

2050

25年後までに挑戦する取り組み

駅前広場の充実・拡張

- 駅玄関口における多様な観光交流機能の充実

みどりと賑わいの ネットワークの形成

- 規模や内容が多様な広場・公園の充実（池端公園、リリオ周辺、旧三河知立駅周辺等）
- 公園・広場と街路、民間敷地が連なるみどりの形成
- 地域と連携した維持管理体制の強化

WELL-BEING 暮らしを紡ぐまち

1 移住・定住しやすい環境づくり

TRIAL

2030

5年以内に実施する取り組み

情報発信の強化

- 駅周辺エリアに関する情報発信（イベント、まちの変化等）を強化
- これから変化することをブランディング※

ACTION

2035

10年後までに実現する取り組み

生活環境の充実

- エリアにおける買い物施設や子育て支援施設などの充実・誘致

CHALLENGE

2050

25年後までに挑戦する取り組み

居住者の増加と継承

- 駅の南北において集合住宅をはじめとした多様な住宅の誘致
- 子どもが成長しても、戻ってきたくなる環境づくり
- 安全安心な地域の維持と向上

2 子育て環境の充実

子育て世代の意見把握

- 子育て世代の意見を聞く機会を増やす
- まちづくりへのフィードバック方法を検討

子育て環境の充実

- 子どもと安全に過ごせる公園整備と設備へのきめ細やかな配慮
- 子どもと一緒に入れる、遊べる施設や教育環境の充実・誘致

3 安全・安心な住環境の形成

暮らしの安全安心強化

- 子どもの見守強化や高齢者居住の安定確保
- 防犯カメラの設置検討
- 地域防災の学びの機会の充実

住環境の整備

- 広場や街路における夜間も安全な照明の設置
- 災害時でも活用可能な広場や公園の機能確保
- 誰もが安心して住み続けられる居住整備

CHALLENGE 誰もが挑戦しやすいまち

1 学生や若者が挑戦できる機会をつくる

TRIAL 2030

5年以内に実施する取り組み

学生・若者の参画機会

- 暫定広場における学生や若者主導の企画実施
- まちでの学生活動発表
- 学生アイデアソン※実施
- 学生の“たまり場”試行

ACTION 2035

10年後までに実現する取り組み

学生・若者の拠点形成

- 駅周辺における学生や若者の居場所となる広場や拠点の整備
- 学生や若者がまちに関わる仕組みづくり

CHALLENGE 2050

25年後までに挑戦する取り組み

エリア全体への拡大

- 学生の居場所となる拠点の拡大
- 学生や若者の活動の種類や幅の広がり

2 新技術やアイデアを試し、かたちにする

実証実験への挑戦

- まちづくりに関する新技術や新サービスの実証実験の募集と試行による経験の蓄積

実証から実装へ

- 試行の中から駅周辺地区への実装事例創出
- 実証を行いやすい環境づくりとブランド化（実証実験都市化）

業務用途の集積と昼間人口増加

- 他都市より先行して新しい技術を取り入れたエリアの実現
- 実証環境を期待した新たな拠点需要の増加
- 業務用途の集積による昼間人口の拡大

3 起業やオフィスに魅力的なまちになる

仕事・起業環境の調査

- リモートオフィス試行
- 店舗起業意向調査や支援検討
- オフィス需要に関するサウンディング

オフィス・拠点の誘致

- 不動産開発におけるオフィス空間の確保と企業の積極的な誘致
- 個人店舗などの起業促進・支援

COMMUNITY コミュニティが息づくまち

1 多様なコミュニティの関わり

TRIAL

2030

5年以内に実施する取り組み

地縁組織の体制強化

- 既存町内会や商店街の課題把握と体制強化に向けた検討
- 新たな住民の声を聴く機会づくり

ACTION

2035

10年後までに実現する取り組み

新たな住民の参画

- 新しくこのエリアに暮らす住民の地域への参画機会の確保
- 町内会活動や商店街活動同士の連携拡大

CHALLENGE

2050

25年後までに挑戦する取り組み

コミュニティとまちづくりの継続的な発展

- 地域で継続的にまちを運営する体制構築（地縁組織の安定的存続・まちづくり体制の確立）
- 祭りや歴史文化の継承体制の構築
- 公共空間などを利用した池鯉鮒宿の雰囲気表現

2 歴史文化を引き継ぐ仕組みづくり

歴史文化への関心強化

- 知立まつりへの関心作り
- 東海道のあり方検討と部分的な修景の実施
- リリオのまちなか展開
- 観光交流センター強化

東海道整備と参加拡大

- 東海道修景や沿道施設・史跡、サイン更新整備
- 知立まつりの体制強化と参画機会の拡大

3 まちを育てる地域の体制づくり

まちづくり体制の検討

- エリアプラットフォーム構築と持続的な運営体制の構築
- まちづくりを進める法人組織と収益源の検討

まちづくり体制の確立

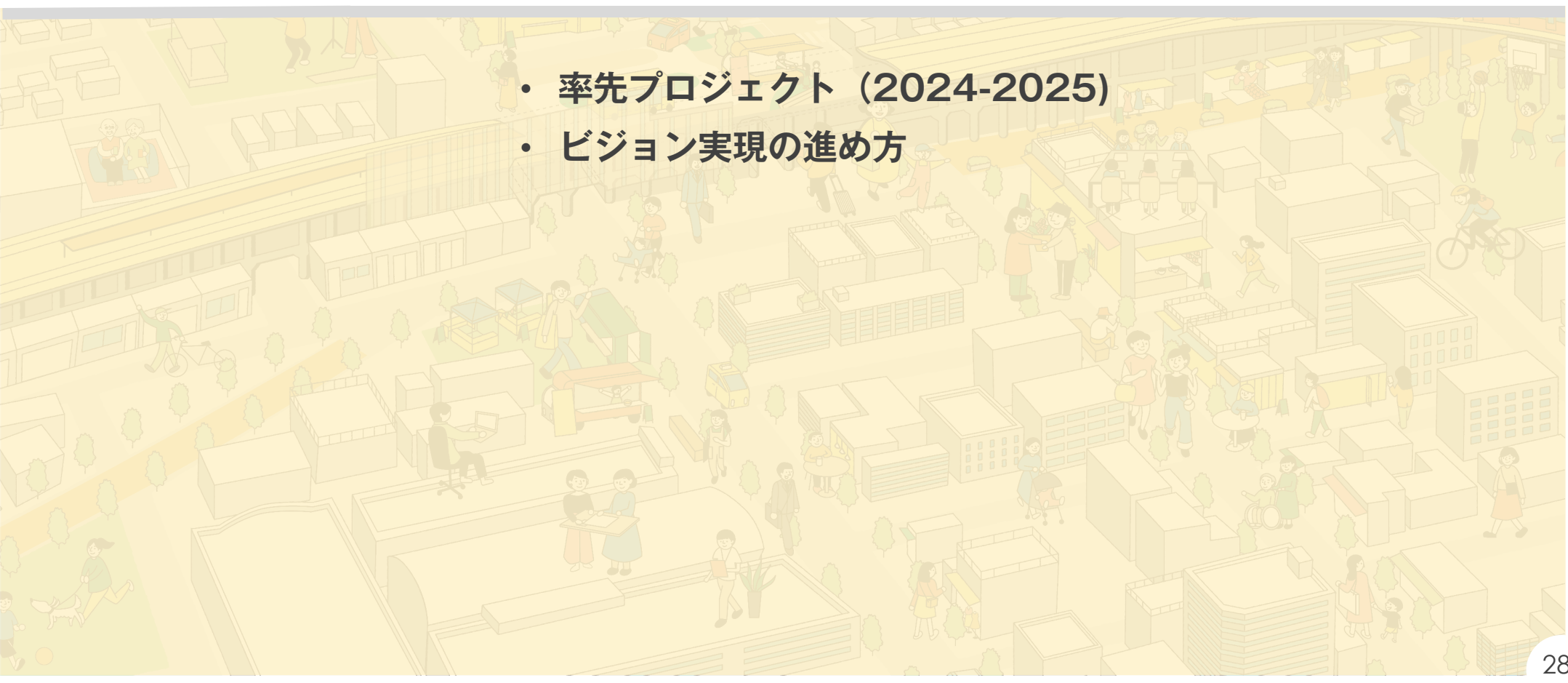
- エリアプラットフォームの規模拡大
- まちづくり組織構築と、自立的な事業運営体制の構築



contents

04

ビジョンの実現に向けて

- 
- ・ 率先プロジェクト（2024-2025）
 - ・ ビジョン実現の進め方

率先プロジェクト（2024-2025）

2024-2025年から具体的に実践を始めるプロジェクトを「率先プロジェクト」と位置づけ、各メンバーが協力を行いながら、それぞれの取り組みを推進します。

プロジェクト名	関係主体	HUB	PARK	WELL-BEING	CHALLENGE	COMMUNITY
①駅前暫定広場の利活用プロジェクト 賑わい創出のための多様な利活用を試行し、将来の広場活用に向けた必要環境を調査	(一社)ゆめナビジャパン、知立市商工会、知立市経済課 等	●	●			
②まちなか事業者誘致プロジェクト 新規出店やオフィス開設の支援、創業・起業に関するニーズや課題等の把握	知立市経済課・企業立地推進課、知立市商工会、碧海信用金庫 等	●			●	
③高齢者居住サポート実証プロジェクト 見守りシステムの実証による高齢者の自立生活支援や住宅確保のための効果検証	(株)FUJI、野村開発(株)、知立市経済課 等			●	●	
④東海道まちなみ修景プロジェクト 多様な関係者による東海道のあり方検討やまちなみの修景のための取り組みの推進	知立まちづくり(株)、銀座エリアの沿道関係者、知立市経済課 等	●				●
⑤公共空間デザインプロジェクト 公共空間のデザイン検討による知立市の玄関口にふさわしい景観づくりの推進	知立市都市開発課、有識者 等	●	●			

①駅前暫定広場の利活用プロジェクト

主な実施主体：(一社)ゆめナビジャパン、知立市商工会、知立市経済課 等

- 将来の駅前広場や公園のあり方、賑わいづくりにおいて必要な設備等を検討するため、駅前暫定広場において多様な利活用や居場所づくりを実証し必要な環境を検証

HUB

PARK

2024年度の実施事項

- 暫定広場の利用促進により、月に1回の定期イベントを開催しています。
- 一般利用も増加し、イベントやマーケットのほか、日常出店、町内会による盆踊りの開催など、活動も多様化しています。
- 利活用が増加する一方で、電源などの設備に対するニーズ、騒音やごみなど管理上の課題などが明らかになり始めています。



町内会主催の盆踊り



イベント開催時の風景

今後の取り組み

- 暫定広場の利用・管理ルールの見直しにより、より快適かつ安全な利用が可能な仕組みを検討します。
- 暫定広場での取り組み経験を活かし、将来的な駅前広場や公園の利活用のあり方に反映を行います。

② まちなか事業者誘致プロジェクト

主な実施主体：知立市経済課・企業立地推進課、知立市商工会、碧海信用金庫 等

- 知立駅周辺エリアにおける商業や生活サービス、業務機能の集積に向け、エリア内での起業や出店の支援を行うとともに、エリアにおける出店ニーズや課題を把握・分析

HUB

CHALLENGE

2024年度の実施事項

- 知立駅周辺エリアにおける空き店舗や不動産を活用した出店、事務所開設に対する補助金を開始し、行政や市内団体による周知広報を開始しました。
- まだ十分な問い合わせ件数等は増えていませんが、店舗開設については2店舗の補助が決まり新規出店が行われました。
- 事務所向けの補助については、開設に至っていません。

知立駅周辺エリアの  

空き店舗で飲食店等を
出店してみませんか？



改装費補助 (補助率 2/3) 最大	100	家賃補助 (補助率 2/3) 最大	10
	万円		万円/月 (12カ月分まで)

店舗に対する補助の内容



補助を活用した出店事例

今後の取り組み

- 引き続き補助金等の積極的な広報により、問合せ件数と新規出店者数の促進を図ります。
- 問合せ件数や補助件数が一定数集まった段階で、その内容について分析を行い施策の改善を検討します。

③ 高齢者居住サポート実証プロジェクト

主な実施主体：(株)FUJI、野村開発(株)、知立市経済課 等

- スタートアップ企業等が魅力的に感じるまちを実現するため、様々な新技術や新サービスの実証実験を行いやすいまちとして、必要な環境を整えるための準備 **CHALLENGE**
- その第1弾として、市内企業の開発する見守りシステムを対象に実証実験を行い、高齢者が安心して住居を借りることが出来るエリアの実現を目指したサービスの開発 **WELL-BEING**

2024年度の実施事項

- 市内12名のモニターにご協力いただき、見守りシステムの実証実験を半年間実施しました。
- 実証実験の結果、既存の見守りシステムとの併用により、不動産管理会社の見守りに対する負担減少につながる可能性があることが明らかになりました。
- 生活リズムの乱れの把握など、福祉政策との連携の可能性も期待できることが分かりました。



見える行動

【 在室状況 】
【 外出状況 】
【 睡眠状況 】
【 トイレ回数 】

センサーによる見守りシステムの概要

株式会社FUJI提供資料

今後の取り組み

- 高齢者福祉や高齢者の居住支援に取り組む団体等との意見交換により技術の活用可能性を模索します。
- 今回の実証実験の取り組みプロセスをもとに、様々な新技術の実証実験の受け入れ環境を検討します。

④ 東海道まちなみ修景プロジェクト

主な実施主体：知立まちづくり(株)、銀座エリアの沿道関係者、知立市経済課 等

- 訪れる人が少しでも歩いて楽しいと感じられる通りを目指して、沿道の多様な主体との連携や建物活用を通じて、東海道らしいまちなみへの修景を推進

HUB

COMMUNITY

2024年度の実施事項

- 銀座通り商店街や沿道関係者による5回の勉強会を行いました。
- 東海道らしい街並み形成に必要な取り組みや問屋場跡地の移設について、具体的な検討をもとに関係者の理解を深めました。
- 具体的な取り組み実施にあたって、商店街以外の主体の巻き込みや取組範囲の拡大、そのためのPRなどの取り組みが必要であることを確認しました。



勉強会の様子

今後の取り組み

- 引き続き問屋場跡地の移設について検討を行い、合意に至った段階で移設を実施します。
- 東海道のまちづくりに取り組む仲間づくりをすすめ、まちなみ修景に向けた取り組み体制を整えます。

⑤ 公共空間デザインプロジェクト

主な実施主体：知立市都市開発課、有識者 等

- 新しく整備される道路や公園、駅前広場等の公共空間の計画やデザイン検討を通じて、西三河、そして知立市の玄関口にふさわしい景観づくりを推進 **HUB** **PARK**

2024年度の実施事項

- これまでエリアプラットフォームでの議論やワークショップの意見をもとに、専門家とのワーキングを行いながら、駅前広場や周辺街路・公園のデザイン検討を進めました。
- 高架下の活用方針や駅前公園・堀切公園の計画具体化のための調査にも着手し、周辺の自転車等の通行量調査や市民アンケート、民間事業者へのヒアリングを進めています。



駅前広場のデザインイメージ

※このイメージは現在計画中のものであり、今後の検討により変更する可能性があります。

今後の取り組み

- 引き続き周辺デザイン検討を進め、知立駅前にふさわしい、一体的な公共空間デザインを実現します。
- 高架下空間の活用や駅前公園・堀切公園について、民間事業者と連携した取り組みの可能性を検討します。

ビジョン実現の進め方

■ 積極的な情報発信を行います

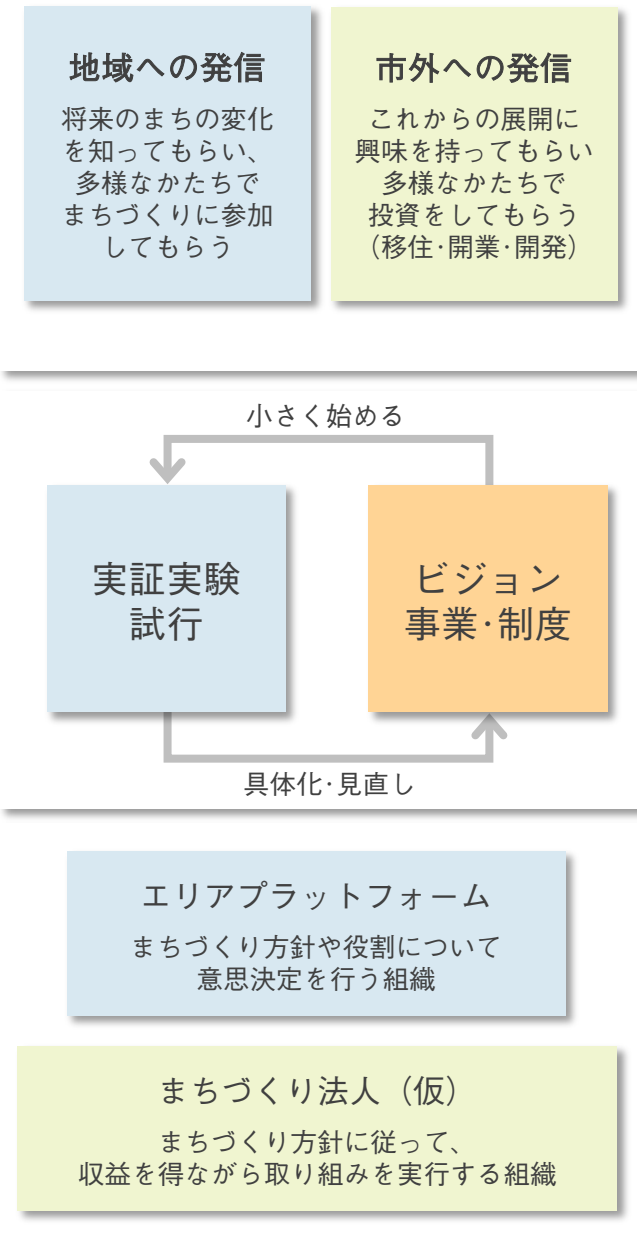
知立駅周辺整備事業や未来ビジョンの内容を、積極的に情報発信することで市民や事業者の関心を惹きつけ、今後の取り組みへの巻き込みや投資の誘致を進めます。

■ モニタリングを続けビジョンを見直します

まずは早期にできる実証や試行を繰り返しながら、その結果をビジョンの具体化や見直しにフィードバックし、ビジョンの実現を目指します

■ 継続的なまちづくり推進体制を検討します

エリアプラットフォームの意思決定や役割分担を具体化するとともに、実効的なまちづくり法人の必要性やその収益構造を検討することで、将来のビジョン実現に寄り添えるまちづくり推進体制を検討します



多様な主体の巻き込みを目指した情報発信の段階的な推進

これからのエリアの変化を段階的、積極的に情報発信し、様々な主体の巻き込みや参加を促します。

STEP1(2025-2026)

情報の集約と公開

未来ビジョンの策定を契機に、知立駅周辺整備事業やまちづくりの情報をホームページに集約



市ホームページでの情報集約

既存媒体の活用

観光交流センターやイベント、関係者の持つ既存媒体等を積極的に活用し情報発信



マーケットイベントでの情報発信（一宮市）

STEP2(2027-2029)

駅前地区でのPR実証実験

暫定広場や工事の仮囲い、既存インフラ等などの活用により、多様な情報発信の実証・試行



換気塔を活用した参加型情報発信（豊橋市）

情報コンテンツの充実

SNSや情報アーカイブ、まちづくり通信や動画など、情報発信を行うためのコンテンツを充実



エリアマップ（知立駅北商店街）

通信（喫茶七番）

STEP3(2030-)

デジタルサイネージの運営

駅前広場の竣工を契機に、駅前でデジタルサイネージを活用し地域の様々な情報を発信



駅前広場でのデジタルサイネージ（一宮市）

まちづくり拠点の設置

地域でまちづくりの詳しい内容を知ることができるまちづくり拠点を設置



都市開発拠点における模型展示（シンガポール）

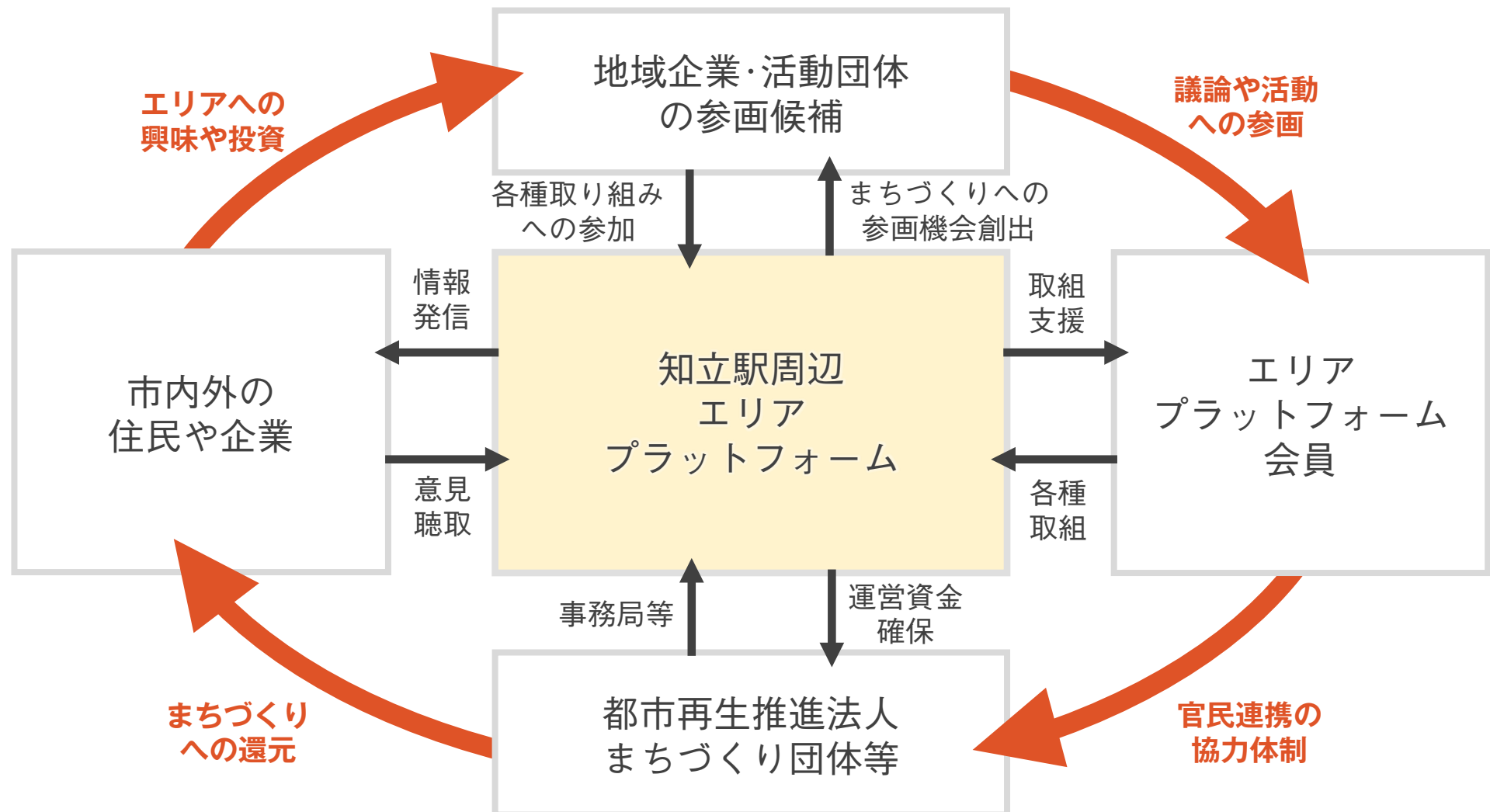
地域の状況を適切にモニタリングするための指標（案）

エリアの変化を多角的・定量的にモニタリングし、変化に対して柔軟に取り組みを見直します。

関連するまちづくり方針	将来目標	モニタリング指標案
	年間乗降客数	通勤通学駅利用者数（定期）
		公示地価（路線価）
		エリア容積率（延床面積）
HUB 人と人が出会うまち	交流人口	歩行者数（主要箇所）
		1階商業床比率
		平均滞在時間
PARK 広場からはじまるまち	広場・公園面積	公園利用者数
		駅前広場滞在者数
		広場・公園イベント数
WELL-BEING 暮らしを紡ぐまち	定住人口	子ども人口（比率）
		暮らしの満足度
		犯罪・事故発生率
CHALLENGE 誰もが挑戦しやすいまち	商業・業務床面積	従業者数
		商店街売上金額（店舗あたり）
		新規開業事業者数
COMMUNITY コミュニティが息づくまち	住み続けたいと思う人の割合	町内会加入率
		商店街加入店舗数
		知立まつり参加者数

持続的なまちづくり体制の構築

未来ビジョンをもとにした主体的なまちづくりの推進のため、エリアプラットフォームが核となり、多様な主体の巻き込みを図りながら、持続的なまちづくり体制の構築を進めます。





知立駅周辺エリア未来ビジョン Version 1.0

発行日 2025年3月26日

発行主体 知立駅周辺エリアプラットフォーム

お問い合わせ 事務局：知立市経済課

TEL 0566-95-0125

Mail keizai@chiryu.lg.jp